

# 神戸新聞

2021年(令和3年)

6月5日

土曜日

を務める田中幸子さんの講演会「自死遺族として生きること」が、19日午後2時から豊中市の豊中商工会議所で開かれる。

大阪府池田市を拠点に、兵庫県内の自死遺族も集う「池田分かち合いの会・ひかり」が主催する。

宮城県警に勤務していた田中さんの長男は2005年、34歳で死去した。「生きていくのがつらいほど孤立感がひどく、同じ思いの遺族に会って話したい」と、当時日本で初めてという自死遺族の自助グループを発足させた。田中さんは20年から「自殺予防と自死遺族支援・調査研究研修センター」(東京都)の理事長も務める。

当日は田中さんが、これまでの体験や活動を通じて思うことなどを話す。

豊中商工会議所は、阪急宝塚線岡町駅すぐ。参加無料(事前申し込みは不要)。

先着順で定員60人。問い合わせは「ひかり」代表の植村ヨシ子さん ☎080・3858・2954

全国自死遺族連絡会

長男亡くした体験など語る

19日、豊中で講演会

警察官の長男を自死で

2021年(令和3年)6月9日(水)

# 朝日新聞

## 自死遺族の悩み 考え分かち合う

19日豊中で講演会

コロナ禍で自死する人が増える中、遺族が抱える悩みや課題について考え、自殺予防につなげようと、遺族の自助グループ「池田分かち合いの会・ひかり」(池田市)が、19日に講演会を開く。

登壇するのは、2005年に宮城県警の警察官だった長男(当時34)を自死で亡くした田中幸子さん(72)。田中さんは08年に全国自死遺族連絡会を立ち上げるなど、同じ境遇におかれた遺族のつなぎ役を担ってきた。講演会では長男を

亡くした経験や遺族が抱える課題について話す予定で、質問も受け付ける。

コロナ禍が拡大した昨年、全国の自殺者数は11年ぶりに増加に転じた。池田分かち合いの会の植村ヨシ子代表(76)は「自死は社会全体の問題であり、一人一人が認識を深めるきっかけになれば。悩みのある人は思い詰めず、必ず誰かに相談してほしい」と話す。

講演会は午後2時から豊中市の阪急岡町駅前の豊中商工会議所であり、検温や消毒などの対策を実施する。事前申し込みは不要で、定員は通常の半分の60人。問い合わせは植村代表まで(080・3858・2954)。(安井健悟)